

令和8年4月開校
公共職業訓練
「金属技術科」
受講者募集案内

創ものづくりへの挑戦

2026年度

金属技術科

入校生募集中

オープンキャンパス 9:30~11:30 / 13:30~15:30

第1回

令和7年

7/13 日

第2回

令和7年

10/26 日

第3回

令和8年

1/18 日

募集日程等

	前 期	後 期
募集定員	20名	
出願期間	令和7年10月1日(水)~11月7日(金)	令和7年12月8日(月)~令和8年1月21日(水)
選 考 日	令和7年11月30日(日)	令和8年2月1日(日)
合格発表	令和7年12月3日(水)	令和8年2月4日(水)
募集人員	募集定員の4割程度	募集定員の6割程度
入校手続期間	令和7年12月4日(木)~12月19日(金)	令和8年2月5日(木)~2月24日(火)

※募集定員に満たない場合は、繰上げ合格又は追加募集をすることがあります。

(追加募集日程 募集期間: 令和8年2月9日(月)~3月10日(火) 選考日: 令和8年3月15日(日))



〒998-0102 酒田市京田三丁目57番4号
TEL 0234-31-2700 FAX 0234-31-2710
URL <https://www.shonai-noukai.jp>
E-mail: center@shonai-cit.ac.jp



山形県立庄内職業能力開発センター
Shonai Vocational Skills Development Center

カリキュラム

訓練期間：令和8年4月～令和9年3月（1年間）

未経験者でも工場板金・製缶・構造物鉄工・機械加工業界で活躍できるよう、板金・溶接・機械加工等の金属加工に関する基礎的な訓練に力を入れています。また、就職内定後は、内定先の企業との連携を密に行い、専門的な業務に対応できるよう、それぞれの分野に特化した訓練を行います。

学科

- 板金工作法
- 板金工作概論
- 溶接法
- 機械工作概論
- 製 図
- 溶接材料
- 材料力学 他

実習

- 板金工作実習
- 溶接実習
- CAD / CAM 実習
- 機械操作実習
- 検査実習
- 機械加工実習
- 総合実習
- パソコン実習 他

●授業内容

専門知識や理論を学ぶための学科と、作業や実習を通して技能・技術を身に付ける実技とに分かれます。1クラス20名での授業になり、基礎からきめ細やかな指導を受けることができます。授業時間は概ね午前8時45分から午後4時20分までです。土曜・日曜・祝日は休校です。その他、夏期休暇、冬期休暇があります。

●授業料

入校考査料（受験料）や入校料（入学金）及び授業料は無料です。ただし、教科書、実習作業服、職業訓練生総合保険及び資格（修了時に取得するものは除く）取得に要する経費等については自己負担になります。

（令和7年度 教科書、実習作業服、職業訓練生総合保険の経費は、約4万2千円です。）

資格取得

●在校中にチャレンジできる資格

- JIS 半自動溶接適格性証明書
- CAD 利用技術者試験 1 級（機械）、2 級
- 床上操作式クレーン運転技能講習修了証
- フォークリフト運転技能講習修了証 他

●修了時に取得できる資格

- ガス溶接技能講習修了証
- アーク溶接特別教育修了証
- 自由研削といし特別教育修了証
- 産業用ロボットの教示等に係る特別教育修了証

入校生の声



令和7年度入校生
北本さん

私は以前、有機化学の研究に携わっていました。山形県にUターンした事をきっかけに、今までとは違う分野に触れてみたいと思うようになり山形県立庄内職業能力開発センターに入校しました。

センターでは、板金、溶接、機械加工、製図などものづくりの基本を勉強しています。全ての分野が全くの未経験でしたが、先生方が理解できるようになるまでとても丁寧に教えてくださりますので、不安なく訓練に取り組んでいます。また、職業講話やコミュニケーション、工場見学など就職支援も充実しており、地元企業とのつながりも強く、希望の就職先に近づくチャンスが多いです。手に職をつけたい方には最適な学びの場だと感じています。

修了生の声



令和6年度修了生
渋谷さん
株式会社斎藤農機製作所

私は高校在学中に金属加工の仕事をしたいと思い、ものづくりを学ぶため山形県立庄内職業能力開発センターに入校しました。現在は、幅広い分野の精密板金製品製造を行っているシートメタル工場に所属し、プレス部門で曲げ加工を担当しています。センターで学んだ図面の読み方やプレスプレーキの取り扱い、薄板の溶接等多くのことが業務に活かされていることを実感しています。センターでは、基礎的なことから丁寧に指導をしてくださり、総合実習では就職先に合わせた訓練内容となっているため、内定後も就職に対する不安もなく集中して訓練に取り組むことが出来ました。